

前回検討会からの主な変更点等について（案）

○参照体位

- ・参照体位が目標とする値と受け取られないよう目的の記述を修正
- ・基準体位から参照体位へ名称を変更した理由を追記

○エネルギー

- ・総死亡率を最も低く抑えるために望ましいと考えられる BMI の範囲と合わせて、実態を踏まえた当面の目標とする BMI の範囲を提示

○栄養素

[主要（マクロ）栄養素バランス]

- ・目標量を、脂質は「20～30」（%エネルギー）と炭水化物は「50～65」（%エネルギー）に変更
- ・脚注に、各主要（マクロ）栄養素の範囲については、おおむねの程度を示したものであり、生活習慣病の予防や高齢者の虚弱の予防の観点からは、弾力的に運用する旨を追記

[脂質]

- ・飽和脂肪酸の目標量を、成人について「7以下」（%エネルギー）に変更

○対象特性

- ・「高齢者」は、各栄養素で設定された値を概観するとともに、フレイルティ（虚弱）とサルコペニア（加齢性筋肉減少）などについて記述
- ・「乳児・小児」「妊婦・授乳婦」は、各栄養素で設定された値を概観するとともに、乳児用調製粉乳等による栄養摂取などについて、記述

○参考資料

- ・前回検討会でご了承いただいた構成（案）の記載例に従って、内容を記述